

### 3 手術技術度D とE の手術件数

#### ● 項目の解説

単に手術件数のみでなく、大学病院の「最後の砦」機能として、技術度の高い手術をより多く行っていることを評価しています。

(手術の技術度については外科系学会社会保険委員会連合(外保連)が試案として5段階で発表しています。この技術度は専門分野の学会ごとに設定されており、他分野との直接比較はできないため、全体数とはせずにMDC(診断群分類)別に手術件数を評価しています。)

#### ● 当院の実績



単 位 | 件  
期 間 | 年間

#### 備考・コメント

手術の技術度については、A～Eの5段階で示され、D群手術は専門医更新者や指導医取得者レベルが実施する手術、E群手術はきわめて難易度の高い、わが国でもごく一部の施設あるいは一部の外科医のみが実施できる手術とされています。  
項目1の全手術件数の8割以上の件数をこの技術度D、Eが占め、高度な手術を提供できている事を示しています。

平成27年度国立大学病院平均値  
(100床あたり) 941.41件  
(平成27年度当院 100床あたり 771.51件)

#### ● 定 義

外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案(第8. 3版)」において技術度D、Eに指定されている手術の件数です。1手術で複数のKコードがある場合は、主たる手術のみの件数とします。